

落ち着いた学習活動が行われています。

校長 市川 裕二

6月20日に緊急事態宣言が解除され、その後、東京都は、まん延防止重点措置が発令されています。そうした中ですが、本校の児童・生徒は、落ち着いて計画通りの学習活動を進めています。

6月12日(土)に、学校運営連絡協議会を開催し、協議会に御参加いただいている地域の関係者や就労支援機関の関係者、PTA会長の皆様に今年度の学校経営の方向を説明させていただき、御意見等を承りました。校内も見学していただきましたが、本校が進めている「あきる野ギャラリー」について、よく御覧いただき、今後も充実してほしい旨の御意見を頂きました。現在、校長室前と、スロープに児童・生徒の作品等を掲示していますが、少しずつ数を増やしています。

また、教室前の掲示板等には、学習の様子がわかる掲示していますが、これも学習の進みに応じて、充実してきております。

新型コロナウイルス感染症対策で、一斉に授業参観等ができない状況ですが、個別の御参観等の折、また、学校にお立ち寄りの折に、是非、御覧になってください。

コロナ禍における教育活動の充実に向けて

副校長 渡辺 裕介

知的障害教育部門小学部・中学部担当副校長の渡辺です。あきる野学園に着任して3年目を迎えました。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

さて、先日緊急事態宣言が解除されましたが、まん延防止等緊急措置については現在も継続しており、本校においても感染防止の対策を継続しながら教育活動を行っておりますが、行事等を制限しながらの教育活動については良い面と課題があるように感じております。

良い面としては、行事等による授業予定の変更が少ないことから、変化に弱い児童・生徒が安定して授業に取り組んでいるのではないかと、ということが挙げられます。本校の教育課程自体が児童・生徒が見通しをもって取り組みやすいことを念頭に設計されていることでもあります。その大切さを改めて実感するところです。

課題としては、やはり行事等と関連する部分ですが、どのように節目をつくっていくか、が難しい面がある、ということです。竹という植物はしなやかで強い構造を持っています。竹の構造上大切なのは節だそうです。節があるから折れにくく、節があるから次の成長ができるということです。行事等は大変な面はありますが、児童・生徒に対して、ここまでできたね、よく努力できたね、ここから次にどんなことに取り組むか、と節目をつくる役割がありました。行事等が制限されるコロナ禍においては、こうした節目を意図的に作っていく必要があると感じています。今後とも、ご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

ふれあい月間

生活指導部

児童・生徒が安心して日々学校生活を過ごすことができるように、毎年本校ではいじめ防止月間として、6月、11月、2月をふれあい月間としています。今年度も昨年度に引き続き、年3回いじめ（心）に関するアンケート、年1回体罰に関するアンケートを実施します。

10月の学校評価においてもいじめに関する質問項目があります。その際は、保護者の皆様へも学校評価記載のご協力をいただきます。よろしくお願いいたします。

学校では、ふれあい月間だけではなく、日頃よから、日々の表情や行動の変化を観察しながら、変化に気付けるように観察を行っています。ご家庭におかれましても、お子様の様子で変化にお気づきの点がありましたら、気兼ねなく、早めに学校へご相談ください。

人は、人との関わり合いの中から成長していきます。その中には成功も失敗もあります。今後とも、友達と仲良く、協力して活動することの楽しさや大切さを教育活動の中で引き続き指導してまいります。7月21日から夏休みに入りますが、夏休みの過ごし方なども含めお子様とできるだけ、接する時間をご家庭でも作っていただけると幸いです。



令和3年度 オリパラ給食



保健給食部

オリンピック・パラリンピックの開催日が近づいてきました。

参加予定国・地域を幅広く学び、実際の国際交流に発展させる世界ともだちプロジェクトの取組の一環として、昨年度に引き続き、各国の文化を楽しく学ぶオリパラ給食を実施します。

6月はドイツと中国のメニューができました。

7月はアメリカとエチオピアのメニューがです。

給食を通して、その国の食文化を学びましょう。

当日は、メニューの紹介文「給食室からこんにちは」を配布します。小学部1年生から4年生は持ち帰り、5年生以上はオリパラノートに挟みます。食文化をご家庭でもぜひ話題にしてください。

ここからは、スポーツの話です。

ドイツの国技の一つサッカーは、皆さんも授業や遊びで経験したり、テレビで見たことがあると思います。ブラインドサッカー、電動車椅子サッカーなどと、ユニバーサルにアレンジしたスポーツが生まれています。ルールや方法を変えることで、多くの人に参加できる競技になりました。

そして、中国は卓球がとても強い国ですが、卓球の発祥は中国ではないそうです。

色々と説がありますが、その中の一つ、インドが発祥という話を紹介します。

インドの「ゴッシマテニス」という遊びがイギリスに伝わってスポーツとして発展し、他のヨーロッパの国や中国などアジアに伝わったという説です。

色々な国や色々な人々が、スポーツで繋がっています。



昨年のドイツのメニュー